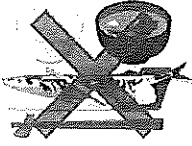

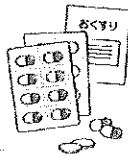


腰部脊柱管狭窄症 入院患者さんパスシート (No. 1)



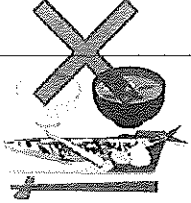
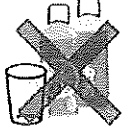
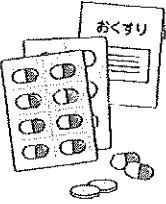
氏名		診療科名	
		入院予定期間	年 月 日 年 月 日

月日	/
経過	入院日(手術前日)
達成目標	1) 手術の物品の準備を手術について理解しましょう。 2) 麻酔について理解しましょう。
治療・検査	13時から15時の間に麻酔科の診察があります。
処置	特にありません。
観察	咳や熱などの感冒症状がある場合は看護師にお知らせください。
活動	決められた安静度を守りましょう。
清潔	体拭き又はシャワー浴をします。
食事	1) 21時から食べられません。 2) 24時から水分を飲めません。  
薬	お薬を内服されている方は、入院時にお薬手帳と一緒に14日分お持ちください。 医師、薬剤師が確認し継続するかどうか判断します。 
説明・指導	1) 医師より手術の説明があります。 2) 看護師より手術前後の処置、必要な物品について説明があります。 3) 麻酔科担当医から麻酔科外来で麻酔についての説明があります。 4) 手術に使用するバスタオル1枚、T字帯1枚をお預かり致します。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

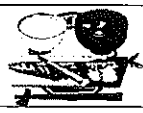
腰部脊柱管狭窄症 入院患者さんパスシート (No. 2)

氏名		診療科名			
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		
経過	手術当日(手術前)		
達成目標	不安の言動がなく手術に臨むことができる。		
治療・検査	10 時以降に手術開始予定の場合は、手術室に行く前に点滴を行います。		
処置	深部静脈血栓症予防のため、ストッキングを履いて手術室に向かいます。		
活動	指示された安静度を守ってください。		
清潔	洗面、歯磨きは行うことができます。		
食事	食べたり飲んだりできません。		
薬	医師の指示で内服がある場合にはお伝えします。		
説明・指導	<p>1) 手術室に向かう前に、浴衣に着替え、深部静脈血栓症予防のストッキングを履きます。</p> <p>2) 貴重品はご家族に預けるか、ご家族が来院されない場合は金庫の鍵は看護師にお預けください。家族の待機場所へご案内します。</p>		
			

腰部脊柱管狭窄症 入院患者さんパスシート (No. 4)

氏名		診療科名			
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/	/
経過	術後 1 日目	術後 2 日目
達成目標	1) 転倒に注意しましょう。 2) 痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。	
治療・検査	1) 朝、看護師が採血に伺います。 2) 食事が摂取できたら抗生物質の点滴のみになります。	
処置		1) 医師が傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます。
観察	血圧、脈拍、体温、呼吸状態、傷の状態(出血の有無、痛みの程度)について観察させていただきます。	
活動	術後 1 日目よりベッド上では自由に動けます。 術後 2 日目より車椅子移動を開始します。 痛みの状態を見ながら移動が安定するまでは看護師が付き添います。	
リハビリ	歩行練習を初めは看護師と一緒にいきましょう。	
清潔	体を拭くお手伝いをします。	
食事	朝より手術前と同じ食事が始まります。	
薬	食事が開始となると、元々内服していた薬が再開となります。 痛み止めの内服薬が処方されます。 痛みが強いときは追加の痛み止めがあるので、看護師にお知らせください。	
説明・指導	1) 痛み止めの内服方法について看護師から説明があります。 2) 手術した足の安静度について説明します。	

腰部脊柱管狭窄症 入院患者さんパスシート (No. 5)

氏名		診療科名			
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/	/
経過	術後 3～12 日目	術後 13～15 日目、(退院日)
達成目標	1) 転倒に注意しましょう。	1) 退院後の生活をイメージしてみよう。 2) 転倒に注意しましょう
	痛みが強い場合には我慢せずに看護師に伝えましょう。	
治療・検査	術後は 1 週間に 1 回採血・レントゲンを行います。	
処置	傷の状態に応じて、必要時消毒を行います。 術後 10～14 日目に抜糸を行います。	
観察	腰を捻ったり、腰を曲げる動作はしないようにしましょう。	
活動	痛みに合わせて歩行器を使用し、疼痛が軽減すれば歩行器なしで歩行します。	
清潔	抜糸までは体拭きを行います。 医師の許可が出るとシャワー浴が可能となります。	
食事	制限はありません。	
説明・指導	1) 退院後の生活について説明します。 2) 退院後の外来診察日について説明します。 3) 保険などの書類は退院日に本館 1 階 A ブロック窓口にて提出してください。 (受付窓口は平日、土曜のみ利用可能です。)	

腰部脊柱管狭窄症（椎弓切除術） ヘルニア摘出の手術を受けられた方へ

退院パンフレット

食事について

- ・医師の指示に従ってください。
- ・規則正しい食生活を心がけましょう。

入浴について

- ・創部はよく泡立てた石鹸でやさしく洗い、強くこすらないようにしましょう。

運動について

- ・手術後、足のしびれが残ることがあります。
- ・筋力低下を予防するために散歩などの適度な運動は痛みに応じて始めましょう。
- ・腰をひねったり、重い物を持ち上げる動作は医師の指示があるまで避けましょう。

その他

- ・痛みに関わりなく、医師の指示通り定期的を受診しましょう。

以下の場合には外来へ受診してください

- ・38度以上の発熱及び創部の腫れや、痛み等の傷の感染が疑われる場合。
- ・入浴の際、創部の観察をしましょう。赤く腫れたり、傷口がひらいている場合。難しい場合は、家族に見てもらいましょう。
- ・洋服の背中に血液や滲出液が着いている場合。

緊急時の対応について

- ・平日の8:00～16:30は整形外科、夜間休日は救急外来にて対応いたします。救急外来を受診する場合は予め電話にてご連絡をお願い致します。

日本医科大学付属病院(代表)03-3822-2131